

平成30年度「小出地区行政との情報交換会」

# 茅ヶ崎市総合計画について

(総合計画の推進によるまちづくり)

平成30年6月30日(土) 13:30 ~

小出地区コミュニティセンター1階 大会議室

# 総合計画について

## 総合計画とは

- 自治体のすべての計画の基本となる、行政運営の総合的な指針となる計画

## 総合計画の法的根拠

### ■自治基本条例（平成21年12月18日条例第35号）第18条

→市は、市の目指す将来の姿を明らかにし、これを計画的に実現するため、この条例の趣旨にのっとり、政策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める計画(以下「総合計画」という。)を定めなければならない。

# 茅ヶ崎市総合計画の構成

本市の総合計画  
は2層構造

## ～ 総合計画 ～

H23～H32

### 基本構想

20～30年の中長期的な展望に基づく、  
10年間の総合的かつ計画的な行政運営の指針

### 実施計画

基本構想に定めた目標を達成するために  
実行する具体的な事業内容を示す3年間の計画

# 将来の都市像

## 海と太陽とみどりの中で ひとが輝き まちが輝く 湘南・茅ヶ崎

### ひと が輝く茅ヶ崎

- 未来への夢と可能性を抱いて、健やかに育つ子どもたち
- 豊かな創造力で、次代を担う若者たち
- 学び・交流を通して、豊かな感性を磨きあう市民
- 支えあって、いきいきと暮らす高齢者たち
- 茅ヶ崎のブランド価値を高める多彩な人材の知恵と行動力

### まち が輝く茅ヶ崎

- 低炭素社会<sup>※</sup>・循環型社会<sup>※</sup>・自然共生社会<sup>※</sup>の実現にチャレンジする持続可能な地域社会
- 使い勝手がよく、安全・安心で住みよさを実感できるまち
- 茅ヶ崎らしい風土と文化、バランスのとれた市街地と自然
- 茅ヶ崎らしい魅力で、多くの市民や来訪者を楽しませるまち

### ひと・まちを育て、支える

- 創造的で、柔軟かつ迅速に政策を実行する行政組織
- 多様化するニーズを満たすため、市民や事業者の力を生かした市民サービス
- 一人一人の力が生かされ、地域のさまざまな課題を解決できるコミュニティ

# 総合計画の構成



# 基本理念

①学び合い育ち合う  
みんなの笑顔がきらめく  
ひとづくり

- 子育て
- 学校教育・社会教育
- 教育環境
- 生涯学習・文化

②いきいきと暮らす  
ふれあいのある  
地域づくり

- 福祉
- 医療
- 地域保健・公衆衛生

③安全でやすらぎのある  
持続可能な  
暮らしづくり

- 環境・資源
- 安全・安心
- 消防

④人々が行きかい  
自然と共生する便利で快適な  
まちづくり

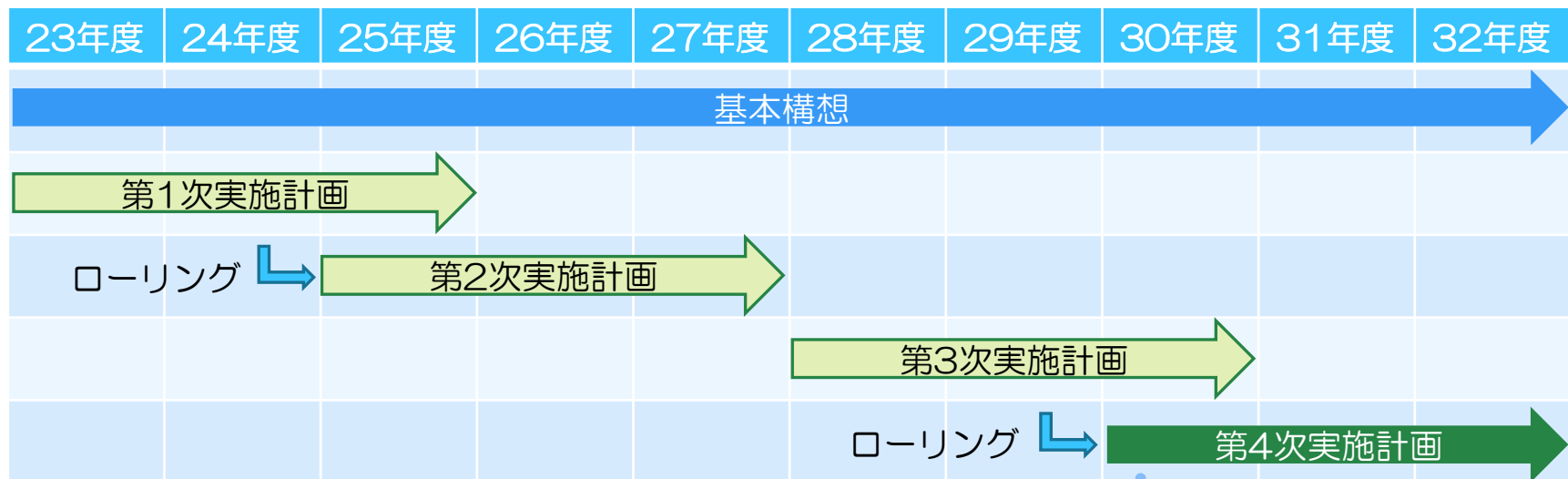
- 都市づくり
- 土木・基盤
- 下水道・河川
- 産業・雇用
- 農業委員会

⑤一人一人の思いが調和し  
未来をひらく  
行政経営

- 企画・総務・財務
- 会計
- 選挙
- 監査

# 計画期間

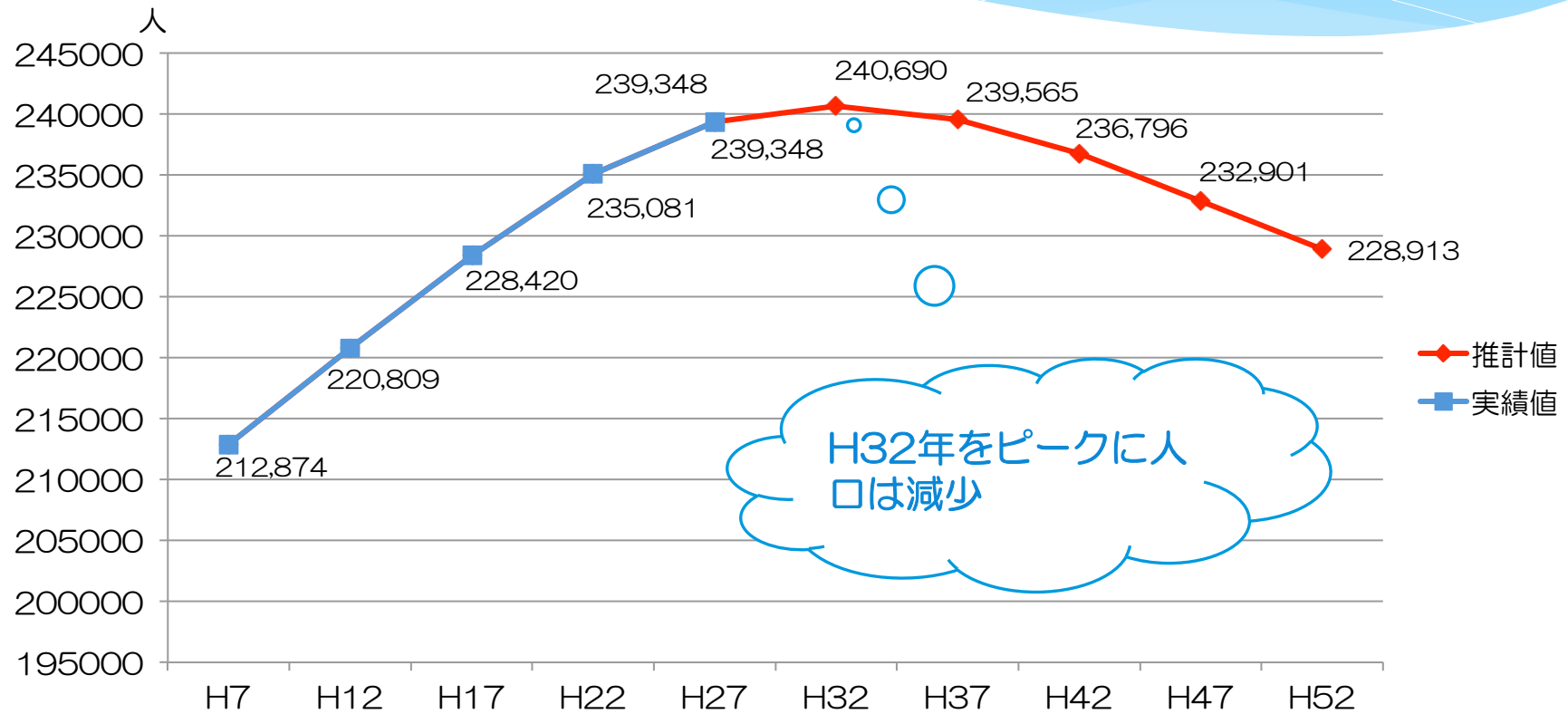
【平成23年度～平成32年度】



現行の基本構想の下  
での最後の計画

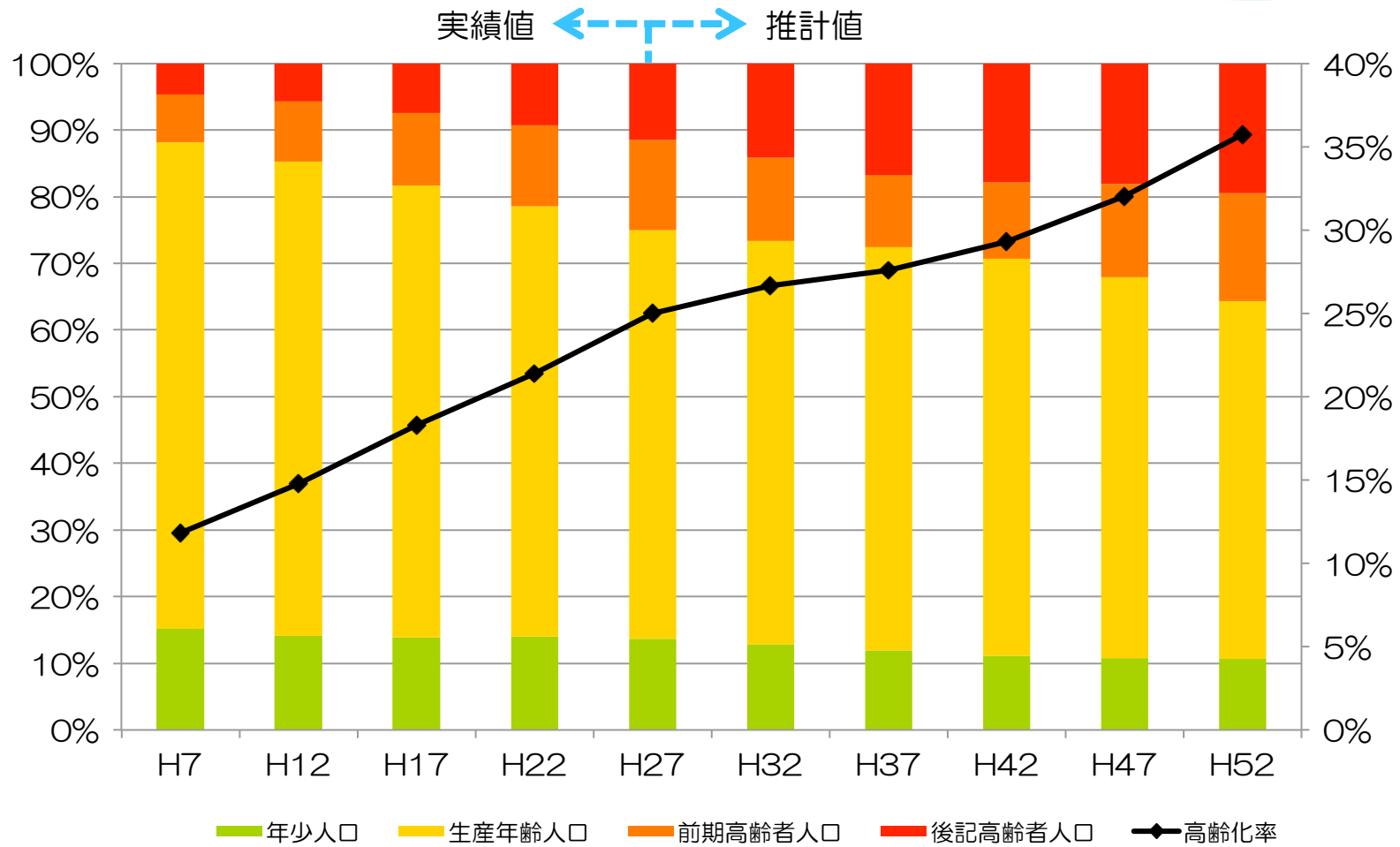
# 茅ヶ崎市の現状

## 人口の見通し

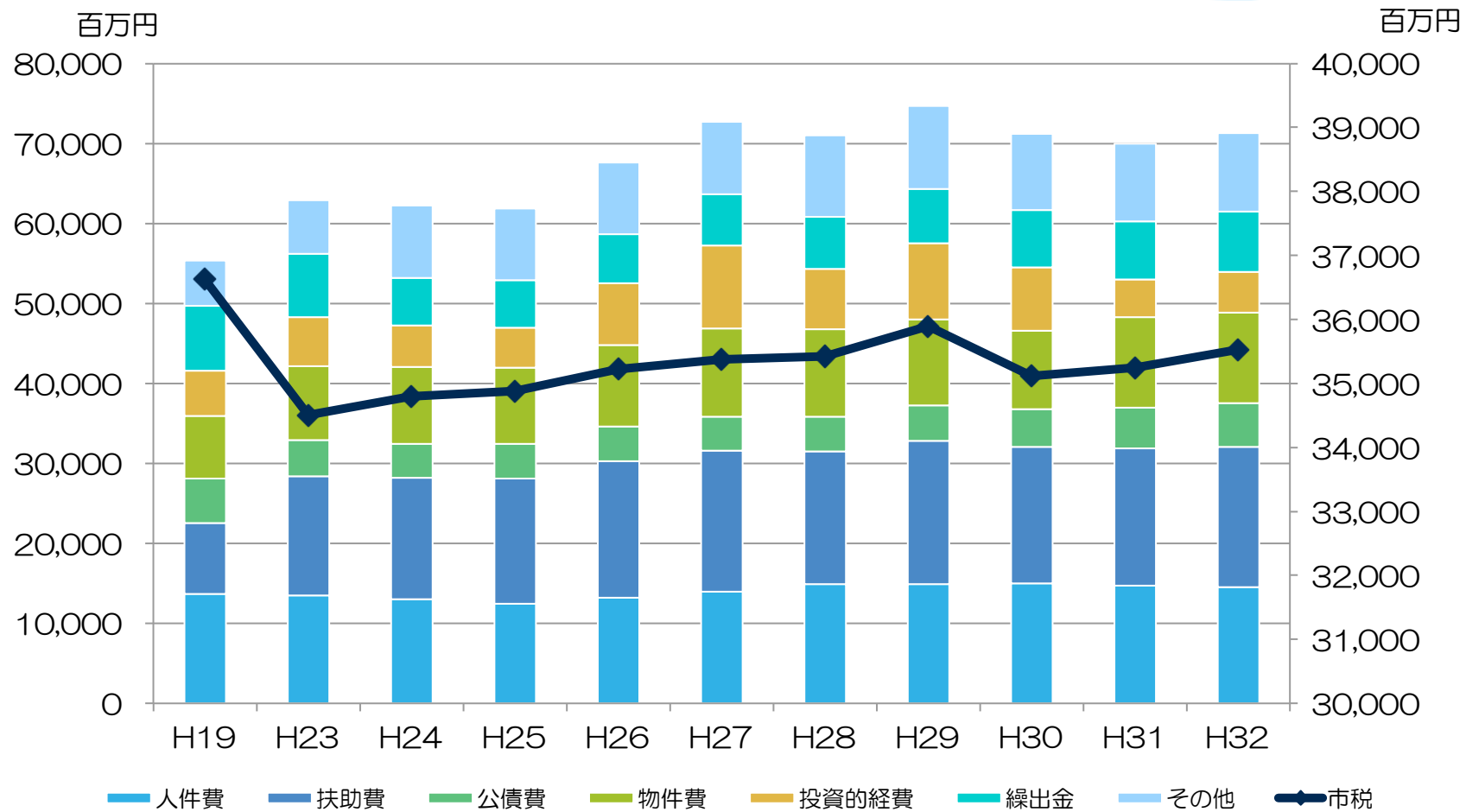




## 人口構成比及び高齢化率の見通し



## 財政の推移及び見通し



# 茅ヶ崎市総合計画第4次実施計画の策定

期間 平成30年度～32年度

## 策定の基本姿勢

- ①現在実施中の事業の着実な推進
- ②経営改善方針に基づく行政運営の展開
- ③事業実施主体の最適化及び業務の効率化
- ④「子育て支援策(新たな待機児童解消対策、小児医療助成)」「茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略リーディングプロジェクト」「豊かな長寿社会の実現」に係る取り組みのうち特に緊急度の高い事業を優先

## 次期総合計画の策定について

現行の総合計画の目標年次である平成32（2020）年度を迎えることから、改めて本市の取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、平成33（2021）年度を始期とする次期総合計画を策定作業を進めています。

現行総合計画

策定年度	平成23(2011)年度
目標年次	平成32(2020)年度
将来の都市像	海と太陽とみどりの中でひとが輝きまちが輝く 湘南・茅ヶ崎
策定根拠	地方自治法



次期総合計画

策定年度	平成33(2021)年度
予定目標年次	平成42(2030)年度
策定根拠	茅ヶ崎市自治基本条例

### 次期総合計画の策定における基本的な考え方

1 現行基本構想の将来の都市像を継承した計画づくり	4 市民参加による計画づくり
2 成熟期に的確に対応した計画づくり	5 実現性・実効性を確保した計画づくり
3 時代の変化に柔軟に対応できる計画づくり	6 目標を明確にし、成果によるマネジメントが行える計画づくり

## 次期総合計画の策定スケジュール

年	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
平成30年 (2018年)	策定方針決定	基礎調査		
		ワークショップ等の開催		
		計画骨子の検討（市内部検討・総合計画審議会）		
平成31年 (2019年)	計画骨子の とりまとめ	計画骨子決定	地区別・分野別懇談会	計画素案決定
		諮問	総合計画審議会	答申
				パブリック コメント
				案を議会提案
平成32年 (2020年)		次期総合計画第1次実施計画の検討		
平成33年 (2021年)	次期総合 計画策定			